

平成22年11月13日(土)、14日(日)に山口大学医学部附属病院主催緩和ケア研修会が宇部全日空ホテルで開催されました。「がん対策基本法」に基づく「がん対策推進基本計画」において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについて基本的な知識を習得する」ことが目標と掲げられています。この目標達成のため、国が定めた「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき、統一的なプログラムによる研修会を実施しています。

当院の岡病院長の開会の挨拶に始まり、2日間で12時間以上の講義及びロールプレイ形式で行われました。研修内容は、がん性疼痛治療法、身体症状に関する緩和ケア、精神症状に関する緩和ケア、コミュニケーション技術等を含む内容でした。当院から、麻酔科の川井先生・又吉先生・原田先生、第二外科の吉野先生、精神科の松原先生・江頭先生、看護部の宮内さん、MSWの高砂さん、また、ペインクリニック山本医院の山本先生を講師に迎え、様々な診療科の開業医や病院の先生方、約30名の参加がありました。

ロールプレイでは、3人グループで医師役、患者役、観察者となり、グループでシナリオを考えるなど役に入り込む場面も見受けられました。

参加者からは、「緩和ケアについて様々な視点から学ぶことが出来た。」「様々な科の先生と緩和ケアという1つのテーマで協議出来た事は有益であった。」「がんを診療する立場としてとても勉強になった。」などの、意見が多く寄せられ、有意義な研修会となりました。

病院長挨拶



受講風景



ロールプレイ風景



講義風景